

アドベンチャーin こしき島の思い出！

7月28日(月)～31日(木)の3泊4日で甑島に行ってきました！

市内小中学生 30名と高校生ボランティア7名が島での共同活動を行い、甑島の自然や活動をとおしてかけがえのない時間を過ごしました♪

【座っているだけで汗が出てくる出発式…】

前日に台風が熱帯低気圧になり、無事に開催することができました！

出発式の子どもたちは、ワクワクしつつもどこか不安があるような表情でした。



【KYTってなんですか？】

フェリーに揺られて約1時間15分で里港に到着しました。

自転車で港近くの里公民館へ移動し、昼食をとり甑島最初の活動であるKYT(危険予知トレーニング)を行いました。

KYTとはK(危険)Y(予知)T(トレーニング)の略称で、これから行う活動の中で危険個所を活動班で話し合い、気を付けるべきところを共有しあう活動になります。KYTを知っている人は数人しかおらず、高校生ボランティアが中心となってこれから活動を行う中での危険個所やどういったことに気をつけるかをグループ全員で話し合っていました！



【いよいよキャンプ村までサイクリング！】

午後4時に出発！

みんなが泊まるキャンプ村までの片道約 11 キロを自転車で向かいます。

全員が無事にキャンプ村まで漕ぐことができ、子どもたちの顔も達成感で満ち溢れていました！



キャンプ村に着いたら、夕食、オリエンテーション、班長会を行い、明日の活動に向けて午後10時には就寝です。



【空が青すぎ！青色も 200 色あるのかな】

活動 2 日目は、甕大橋や鳥の巣山展望所、瀬尾観音三滝などの各名所を巡り、今年リニューアルされた甕ミュージアムへ行ってきました！

天気に恵まれて、青空が広がる甕島の景色は最高に綺麗で、恐竜の化石は想像以上に大きく、子どもたちは興味津々でした。

また、7 月 23 日に記者発表された、モササウルス類の方形骨は九州で初めて発見された化石も見ることができました。



【自分だけの特別なキーホルダーを】

創作活動は「化石のキーホルダー」を作りました。

甕ミュージアムの学芸員の先生を講師に迎え、アンモナイトやティラノサウルスの牙の型に材料を入れ込みながら全員楽しそうに作っていました。

一色ではなく、様々な色を組み合わせ、個性豊かなキーホルダーができたと思います！



【途中めちゃくちゃ燃えていたキャンプファイヤー】

2日目最後の活動はキャンプファイヤーです。

各班のレクリエーション係が出し物を考え、クイズやなどなどで大いに盛り上がりました！



【津波に注意しながら楽しく、美味しく♪】

3日目の活動は、レクリエーションを上甕コミュニティセンターで行いました。また、今回もキャンプ村から上甕コミュニティセンターまで約7キロの距離を県下周駅伝日置チームから「吉村健人」選手に走っていただきました！青空の下、爽快な走りに並行する子どもたちも勇気づけられました♪

レクリエーションでは、高校生ボランティアが中心となって考え、借り物競争や、ジャスチャーゲームなど子どもたちが楽しめるように初日から考えて話し合っていました。

午後の活動は、鹿の子大橋まで自転車で行く予定でしたが、地震による津波注意報が発令され活動は中止、キャンプ村に帰り、片付けをした後はみんなが楽しみにしていたBBQをしました♪



【見えないものをみようとした天体観測】

BBQでお腹いっぱいになった後は、昨年できなかった天体観測♪

飯島で見る星空はとても綺麗で、授業で習った夏の大三角形や北斗七星などを見ることができました！



【達成感という言葉を追いかけて漕ぎました】

最終日は、朝 5 時 15 分に起床・・・。

眠たい中、朝の集いで体を起こし、朝食を済ませてサイクリングで里港まで向かいます。

サイクリング中は、高校生ボランティアが子どもたちに声を掛けて気を配っていました！

参加した子どもたちは、出発式の時よりも自信に満ち溢れた表情になっていたと思います。

アドベンチャーin こしき島に参加した子どもたち、高校生ボランティアの皆さんお疲れ様でした♪

